



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」

株式会社ロッテ

2023年9月7日(木)

紙製容器包装リサイクル活動推進を目指し リサイクル回収箱をトキワ松学園中学校高等学校に設置 2023年9月回収開始

株式会社ロッテ（本社：東京都新宿区、以下ロッテ）はこのたび、トキワ松学園中学校高等学校（所在地：東京都目黒区）生徒会と協力し、紙製容器包装のリサイクル活動を推進いたします。同校内にリサイクル回収箱を設置し、2023年9月より回収を開始します。日本では、新聞やチラシ、段ボールといった古紙の回収は積極的に行われていますが、紙製容器包装の回収率は低い、という現状があります。そこで、紙製容器包装のリサイクル意識を高める一助として本取り組みを実施することにいたしました。今回、古紙再生の専門技術を持つコアレックス信栄株式会社（本社：静岡県富士市）に協力をいただき、回収された紙製容器包装はトイレトペーパーに再生されます。後日、回収量に応じて同社製品のトイレトペーパーをロッテからトキワ松学園中学校高等学校に寄贈します。当社では、本件の他にもガムボトルの容器回収リサイクルの実証実験を行うなど、容器包装等における持続可能な社会の実現に挑む様々なチャレンジを「スマイルエコチャレンジ」と名付けて実施しています。引き続きステークホルダーの皆さまと共にサプライチェーン全体での持続可能な社会の実現に向けた「スマイルエコチャレンジ」を推進してまいります。



トキワ松学園生徒会の皆さまとリサイクル回収箱（上）
再生トイレトペーパーを寄贈予定 ※パッケージデザインはイメージです（右）



※デザインはイメージです。

本取り組みの背景についてロッテ担当者のコメント

藤原普夫（ロッテ中央研究所 パッケージ研究課）

ロッテではESG目標に「循環型社会への貢献」を掲げ、プラスチック削減、リサイクル素材や環境配慮紙の活用等の環境配慮設計を行っています。循環型社会の実現に当たっては、企業の取り組みだけでなく生活者の皆さまの意識や行動も重要となります。紙のリサイクルの現状について調べたところ、日本の古紙回収率は79.5%（*1）と高いのですが「紙製容器包装」に関して、資源として回収されている割合は23.6%（*2）と少ないという課題があることがわかりました。これは主に燃えるごみとして出している方が多く「資源化できる」ことへの認知が低いのが要因のようです。

トキワ松学園中学校高等学校様とは、以前SDGsの授業を実施したご縁があり、生徒会でもエコ活動を行いたいという話をお聞きしておりました。今回の当社の取り組みに賛同いただき、ご一緒させていただくことになりました。

この取り組みを通じて、お菓子などに使われる紙製容器包装がリサイクルできる資源であることを、より多くの皆さまにお伝えしていきたいと考えています。

（*1）出典：公益社団法人古紙再生促進センター <http://www.prpc.or.jp/recycle/number/>

（*2）出典：紙製容器包装リサイクル推進協議会 <http://www.kami-suisinkyoo.org/kaisyuuryou.html>



社名の由来である
“若きウェルテルの悩み”のヒロイン
「シャルロッテ」



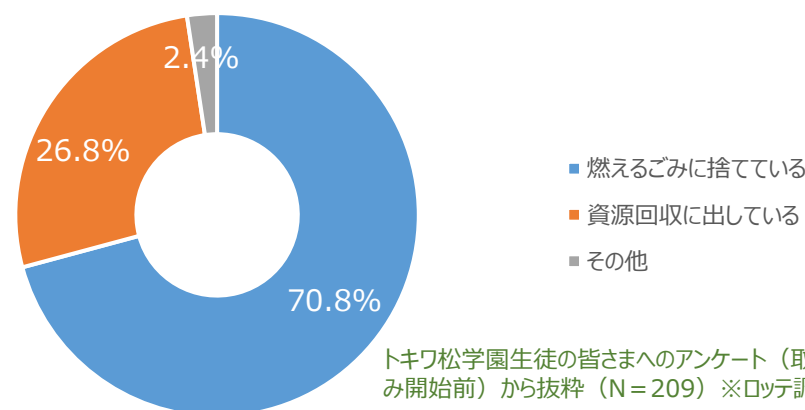
ロッテ・藤原よりトキワ松学園生徒会の皆さまに本取り組みを説明（上）
回収箱の設置イメージ（右）



トキワ松学園生徒会のコメント

今回、私たちにとって身近なお菓子などの箱である紙製容器包装が、実はリサイクルできることを知り、びっくりしました（参考：右グラフ）。一人一人が意識をして集めていけば、たくさんの紙製容器包装をリサイクルできるかもしれないと考えています。この取り組みは、生徒会が中心となり全校生徒へ働きかけをして活動していきます。このような活動ができる機会をいただけたこと、環境やリサイクルに興味を持つきっかけに出会えたことは、今後様々な場面で行動や選択をしていく上で有意義だと思えます。たくさんの紙製容器包装を集め、この活動を成功させたいと思えます。

設問1：普段食べ終わった後のお菓子などの空き箱はどうしていますか？



トキワ松学園生徒の皆さまへのアンケート（取り組み開始前）から抜粋（N=209）※ロッテ調べ

●本取り組み、今後のスケジュール

- ・2023年9月
トキワ松学園中学校高等学校に回収箱を設置し、紙製容器包装のリサイクルを開始
- ・2024年3月頃
集まった紙製容器包装をロッテが回収。コアレックス信栄にて、古紙原料の一部としてトイレットペーパーに生まれ変わる。回収量に応じて、同社製品のトイレットペーパーを寄贈

※本リリース時点の予定のため、変更になる場合があります。

スマイルエコチャレンジについて

これまでも当社では、森林認証紙や再生紙の使用など、容器包装の環境配慮に取り組んでいます。また、当社では本実証実験のように、本件の他にもガムボトルの容器回収リサイクルの実証実験を行うなど、容器包装等における持続可能な社会の実現に挑む様々なチャレンジを「スマイルエコチャレンジ」と名付けて実施しています。引き続きステークホルダーの皆さまと共にサプライチェーン全体での持続可能な社会の実現に向けた「スマイルエコチャレンジ」を推進してまいります。



ロッテ 環境についての考え方：<https://www.lotte.co.jp/corporate/sustainability/environment.html>